

高齢者虐待の共依存アセスメント能力評価表

以下の全項目の普段の対応について、あてはまるものを回答欄にご記入ください

| 調査項目 | | 回答欄 |
|------------------------|---|--------|
| 1. 家族内の共依存のアセスメント | | |
| | 家族内にゆがんだ絆や互いの操作性が存在する可能性を吟味する | はい・いいえ |
| | 家族のコミュニケーションに暴力がある可能性を吟味する | はい・いいえ |
| | 家族が互いの自立を妨げている可能性を吟味する | はい・いいえ |
| | 家族が自己完結している可能性を吟味する | はい・いいえ |
| | 被虐待者を分離しても自らの意思で養護者のところへ戻る可能性を吟味する | はい・いいえ |
| | 家族内のこれまでの、または現在の力関係もしくは支配関係を吟味する | はい・いいえ |
| | 被虐待者が養護者をかばう場面の目撃の有無を確認する | はい・いいえ |
| 2. 養護者と被虐待者のアセスメント | | |
| | 養護者の虐待をしている認識の有無を吟味する | はい・いいえ |
| | 被虐待者が虐待を受けている認識の有無を吟味する | はい・いいえ |
| | 養護者が適切でない介護をしているか否かを吟味する | はい・いいえ |
| | 家族の経済状況及び家族と社会のかかわりを吟味する | はい・いいえ |
| | 養護者の特徴やケアに対するこだわりを吟味する | はい・いいえ |
| 3. 職員間や関係機関との連携と仕事への構え | | |
| | 困難な事案に対応する際に周囲から支援を受ける | はい・いいえ |
| | 困難な事案について周囲のスタッフと情報共有する | はい・いいえ |
| | 自身のストレス対処ができる | はい・いいえ |
| | ケースを適切な関係機関につなげられる | はい・いいえ |
| | スタッフ間でカンファレンスを開催している | はい・いいえ |
| | 日頃からの関係機関とコミュニケーションをとっている | はい・いいえ |
| | 困難な事案への対応にもやりがいをもてる | はい・いいえ |
| 4. 虐待を認知した時の対応 | | |
| | 養護者と被虐待者との関係性に考慮して対応する | はい・いいえ |
| | 虐待者（家族）にも対応（ケア）する | はい・いいえ |
| | ケースが抱える問題の優先度を判断する | はい・いいえ |
| | 被虐待者を保護する | はい・いいえ |
| 5. 専門的知識 | | |
| | 虐待に関する法制度についての知識を有する | はい・いいえ |
| | 虐待対応に関する措置制度（老人福祉法および高齢者虐待防止法）についての知識を有する | はい・いいえ |
| | 成年後見制度についての知識を有する | はい・いいえ |
| | 虐待等の研修に参加した | はい・いいえ |
| | はいの合計 | 点 |